



コロナ禍におけるクラブの運営について

発表者：岐阜長良川ロータリークラブ
幹事 佐曾利 茂之

岐阜長良川ロータリークラブの幹事をやらせていただいております佐曾利と申します。

「コロナ禍におけるクラブの運営について」というわけですが、残念ながら当クラブも前期の6月末に新型コロナウイルスによる影響により会員2名が退会されました。

今期は47名でスタートしました。

当クラブはこの状況を踏まえ「まずは退会者を出さない」というのを念頭に置き、そして一方、増強への活動として数年前から取り組んでいますが、基盤強化委員会を中心に、クラブフォーラムなどを活用し、ロータリーに入会出来る出来ないは関係なく、知り合いの経営者等をアンケート方式で記載してもらい、それを活用、共有し会員増強に向けて活動をしている状況です。

この世界不況の中、中々難しい話ではあるかとは思いますが、ロータリーに入ったからこそできた経験は私自身も数多くあります。そういった事が相手に伝わって「入会してみたい」と思っただければと思っています。

当クラブの基盤強化委員長は当クラブは56周年だから56人にするぞと息巻いております。そしてすでに1名の入会が決定しております。この勢いで目標達成に向けて会員増強に全員で取り組んでいきたいと考えています